

このプリントでは、2021年2月14日に実施した文章読解・作成能力検定の3級の問題を使って、意見文の「事実」の書き方を説明します。検定問題は、協会HPよりダウンロードすることができます。

<https://www.kanken.or.jp/bunshouken/materials/example.html>

ステップ1 ブレーン・ストーミングで書く材料を集めよう

何を書けばいいか、全然思いつかないよ。

ブレーン・ストーミングをしてみたら？

え。なにそれ。

あるテーマについて思いつくことを、たくさん集めてメモしていくことだよ。

テーマ

友人が失敗したとき、アドバイスをする方がよいか、しない方がよいか

そんな経験ないからなんにも思いつかないよ。

テーマが自分に経験のないことだと書けないよね。

自分がアドバイスをされた経験を書いてもいいよ。それに、自分が経験してなくても、人から聞いた話や、テレビやネットで見た話でもいいんだよ。

そうなんだー。

集めたメモは、意見文を書くための材料集めに使えるよ。さあ、やってみよう。



ワーク1

「友人が失敗したときにアドバイスをする」ことについて、思いつくことをメモしよう。

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

ステップ2 集めた材料を、「事実」と「事実」以外に分けてみよう

- ① 友人がアドバイスしてくれたらいいのになあ。
- ② 佐藤さんにアドバイスしたら怒るかもしれない。
- ③ 鈴木くんがアドバイスしたら喜んでくれた。
- ④ 友人が失敗したらアドバイスの方がよい。

書いてみたよ。



- ⑤ アドバイスすれば、同じ失敗を減らすことができるからだ。
- ⑥ 友人にアドバイスされて余計なお世話だと思った。
- ⑦ 友人が失敗したときは何も言わずそっとしておく方がよい。
- ⑧ 友人のアドバイスは役に立たないような気がする。

わたしも書けた。



わあ、たくさん書けたね。でも、この中で、事実とは2つしかないよ。どれとどれが「事実」だけ分かるかな？



ワーク2

①～⑧の中で「事実」には（ ）の中に○を、「事実」ではないものは「願望、想像、意見、理由」の中から当てはまるものを選んで（ ）の中に書こう。

- ① 友人がアドバイスしてくれたらいいのになあ。 ()
- ② 佐藤さんにアドバイスしたら怒るかもしれない。 ()
- ③ 鈴木くんがアドバイスしたら喜んでくれた。 ()
- ④ 友人が失敗したらアドバイスの方がよい。 ()
- ⑤ アドバイスすれば、同じ失敗を減らすことができるからだ。 ()
- ⑥ 友人にアドバイスされて余計なお世話だと思った。 ()
- ⑦ 友人が失敗したときは何も言わずそっとしておく方がよい。 ()
- ⑧ 友人のアドバイスは役に立たないような気がする。 ()

ええと、「事実」は③と⑥だけで、ほかは「事実」じゃないと思うな。あとはなんだろう。



①は願望、②は想像、④は意見、⑤は理由、⑦は意見、⑧は想像じゃないかな。



その通り！「事実」を書く材料が集まったら、それをもとに、詳しく書いていけばいいんだよ。

「事実」をどう詳しく書いていくかは、「【3級】意見文入門講座②」を見てね。

